

平成 24 年度
事業報告書

(社団法人日本ねじ工業協会)

自 平成 24 年 4 月 1 日
至 平成 25 年 3 月 31 日

(平成 24 年)



一般社団法人 日本ねじ工業協会

目次

第1章 平成24年 ねじの生産・輸出入状況	1
第2章 事業活動	2
I 委員会事業	2
1. 政策委員会事業	2
(1) 委員会・部会活動強化への諮問	2
(2) 協会活性化、会員増強の推進	2
(3) 決算・予算報告への諮問	2
(4) その他	2
2. 未来開発・パブリシティ委員会事業	2
(1) 「会報ねじ」のIT化	2
(2) 協会ホームページの英文化	2
(3) 未来開発パブリシティ委員会の再編・体制強化	2
(4) 協会内のEメール情報網構築推進活動	2
(5) 上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業	2
(6) 平成25年度 本委員会の事業計画案の策定	3
3. 資格委員会	3
(1) 資格委員会事業に係わる事業内容(計画)の具体化の審議、決定	3
(2) テキスト(拡充等)に関する作業	3
(3) ねじ技能検定講習会及びねじ製造技能検定(協会認定)の実施	4
(4) 職業能力評価基準の活用促進事業推進	5
(5) 平成25年度 本委員会の事業計画案の策定	6
(6) その他、資格制度に関する事業	6
4. 技術委員会事業	6
(1) タイ国における研修会及び工場視察	6
(2) その他技術講習会及び需要業界視察の開催	6
(3) ねじに関する安全啓発事業	6
(4) 圧造技術スクールの開催	7
(5) JIS/ISOに関する事業	8
(6) サポートインダストリー振興事業	8
(7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業	8
(8) ねじ入門書の頒布、JISハンドブックの斡旋	8
(9) 平成25年度 本委員会の事業計画案の策定	8
(10) その他、技術振興事業	8

5. 国際委員会事業	8
(1) 2012年五地域ねじ協会交流大会の企画検討	8
(2) 2012年五地域ねじ協会交流大会の開催	9
(3) 原産地規則、自由貿易協定に関する情報収集	9
(4) 海外ねじ関連企業工場見学	9
(5) 材料動向講演会	9
(6) 国際関連情報の情報収集提供	9
(7) その他、国際協調・競争力強化関係事業	9
6. 労務委員会事業	10
(1) 会員企業の労務に関する調査	10
(2) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供	10
(3) 団体グループ保険制度等 福利厚生事業	10
7. 財務委員会事業	10
II 部会事業	11
III 組織強化事業	12
(1) 魅力ある協会運営のための事業推進	12
(2) 会員の経営基盤強化のための講演会開催	12
(3) 公益法人関連法及び制度改正への対応	12
(4) 諸規程整備作業	12
(5) 政府経済対策等への対応	12
(6) 取引の適正化に係わる事業	12
(7) 日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化	12
(8) その他	12
第3章 総会、理事会、懇談会・懇親会等	13
1. 総会、理事会	13
(1) 総会	13
(2) 理事会	13
2. 懇談会・懇親会等	14
3. ねじ商工連盟総会	14
平成24年度会員数推移	15
【参考1】第52回通常総会議事録	16

第1章 平成24年ねじの生産・輸出入状況

(1) 生産 (速報) (出所：当協会推計)

重量：296万トン (対前年比 7.1%増)

金額：8,549億円 (対前年比 8.3%増)

数量・金額とも増加。

(過去最高—H19：数量 (334万トン)・H19：金額 (9,005億円))

(参考—H21：数量 222万トン (対H24年比 33.2%増)

金額 6,274億円 (対H24年比 36.3%増))

(2) 輸入 (出所：財務省貿易統計)

重量：22.6万トン (対前年比 3.9%増)

金額：653億円 (対前年比 2.1%増)

数量・金額とも増加。数量では過去最高。

(過去最高—H24：数量 (22.6万トン)・H19：金額 (864億円))

(主要輸入先国：中国、台湾、米国 (数量3位：韓国))

(3) 輸出 (出所：財務省貿易統計)

重量：32.2万トン (対前年比 5.7%増)

金額：2,479億円 (対前年比 6.9%増)

数量・金額とも増加。金額では過去最高。

(過去最高—S52：数量 (38.1万トン)・H24：金額 (2,479億円))

(主要仕向地：米国、中国、タイ) (仕向地1位：中国 → 米国)

(参考) 需要業界生産動向 (出所：機械統計)

(暦年)	四輪自動車		民生用電気 機械器具	民生用電子 機械器具	金属工作機械	
	万台	億円	億円	億円	万トン	億円
23年	840	145,776	8,579	15,711	44	11,729
24年	994	173,988	7,977	11,248	43	11,551
前年比	118.4%	119.4%	93.0%	71.6%	97.1%	98.5%

第2章 事業活動

I 委員会事業

1. 政策委員会事業（竹中弘忠会長）

（1）委員会・部会活動強化への諮問

- 7委員会 政策委員会、未来開発・パブリシティ委員会、資格委員会、技術委員会、国際委員会、労務委員会、財務委員会
- 7部会 ソケットスクリー部会、小ねじ部会、特殊品ねじ部会、ステンレスねじ部会、建築用ねじ部会、ボルト部会、ナット部会

（2）協会活性化、会員増強の推進

（特に（建築）基礎ボルト関係向けねじ製造企業の入会促進活動推進）

（3）決算・予算報告への諮問

（4）その他

2. 未来開発・パブリシティ委員会事業（藤田守彦委員長、後藤晴雄担当副会長）

「IT化の実現」に向けて以下の事業を推進すると共に、その他 会報発行（Web版）、各種統計調査、広報活動等も継続的に実施

（1）「会報ねじ」のIT化

- 印刷媒体「会報ねじ」最終号の発行（IT化趣旨とeメール連絡網構築を周知）
 - H24.6末 Web版「会報ねじ」の立ち上げ（「会報ねじ」ホームページの作成）（※）
 - H24.8 「会報ねじ」メルマガ第1信配信
 - ・ 平成23年度事業の「ねじ未来開発パブリシティ委員会ニュース」によるブログ、メルマガのトライアルを終了し本格メルマガ発信を開始（※）
 - ・ 過去（トライアル）記事を「会報ねじ」ホームページに移行
- ※ 「会報ねじ」の記事のアップ状況（H24.6～H25.3末）：20件（内取材記事4件）
メルマガ配信状況（同期間）：10件

（2）協会ホームページの英文化

H24.7 英文のホームページを立ち上げ、会員企業リスト等を英文化

（3）未来開発パブリシティ委員会の再編・体制強化

- 「会報ねじ」のIT化に伴う発信体制の強化を目的として、本委員会を記事カテゴリー別に再編し新たな委員の担当体制を構築
（四役会（委員長、担当副会長、副委員長、事務局）を設置、四役会の計3回開催）
- 未来開発・パブリシティ委員会を開催（H24.12.17 於：機械振興会館）し、各担当別に編集方針等を検討
- これまで活用してきたFacebookグループ機能をさらに活用して、当委員会の迅速な情報共有を推進

（4）協会内のEメール情報網構築推進活動

- 委員による積極的な登録推進活動を行った結果、H25.2末現在の会員の窓口責任者登録率は94.4%（企業数185/196社）となった。
（メルマガ本格スタート時点（H24.7）窓口責任者登録率：25%）

- メルマガ読者登録数484人（副窓口責任者も含む）

（5）上記以外のこれまで実施して来た調査・広報関係事業

- 会報「ねじ」の発行（平成24年4月号、IT化移行特集号）

- 年頭所感・ねじの日挨拶等の発表対応
- 会報「ねじ」企画 対談「トップに聞く」に関する取材、原稿取り纏め（校正含む）、ホームページによる発信

対 談 者 (対談場所)
・(株)イチャナギ 代表取締役社長 一柳 達朗 氏 (於：本社工場)
・西精工(株) 代表取締役社長 西 泰宏 氏 (於：本社工場)

- その他協会ホームページの更新（協会事務局担当分）
（会員名簿／協会からのお知らせ／会員専用ページ／官公庁からの通達用 他の更新）
 - 生産統計の作成（メールを活用した収集）
 - 輸出入統計、主要国のねじ貿易統計の作成
 - 「ねじの日」記念事業
 - ・ねじ関係報道各社(3紙・誌)へのねじの日及び当協会PR広告掲載
 - ・「ボルト型ボトル」(平成18年度ねじの日記念として作成)の通年頒布
(必要に応じ何時でも申し込める)
 - ・ねじの日記念「ノグスペン」(日本ねじ商業協同組合連合会 企画・販売)の頒布斡旋
(H25.6.1ねじの日記念事業)
 - ねじ業界関連情報の収集提供
需要動向（機械工業生産額見通し（(一社)日本機械工業連合会調査）、
中小企業景況調査報告（中小企業基盤整備機構調査））等の情報収集
 - 経済産業省、その他関連団体などからの調査依頼への協力及び会員への情報収集提供
(メールを活用した会員への情報提供)
 - TV局、報道各紙・誌などからのねじ・当協会に関する取材・問合せへの対応
 - その他
 - ・その他 会員並びに業界関連情報の情報収集提供
 - ・その他 協会・会員並びに業界関係情報の広報活動関係事業
- (6) 平成25年度 本委員会の事業計画案の策定
- IT化の有効活用を推進
(会報のIT化の完全実施、協会外部向け読者拡大のための事業 他)
 - 「会員の手による広報」の実現のための体制確立と広報活動の裾野拡大事業
 - 会員・協会の地位向上のための事業
(会員参画の機会を増やす会員サービス拡大、業際（ねじ製造関連業界）向け企画の検討 他)
 - 当協会推進事業に関する広報活動

3. 資格委員会（椿省一郎委員長）

昨年度実施した、ねじ製造技能検定創設に向けた事業を国家検定への次の段階に進めるために以下の事業を推進

- (1) 資格委員会事業に係わる事業内容（計画）の具体化の審議、決定
 - ・拡大運営委員会開催（H24.4.21 於：ホテル日航大阪）
 - ・資格委員会開催（H25.1.18 於：品川プリンス）
 - ・検定委員会開催（関東・中部・関西3地域で計12回開催）及びその他打合せ実施
- (2) テキスト（拡充等）に関する作業
 - テキストの著作権に関する作業（昨年度作業に引続き作業）
 - これまでのテキスト修正に係わる作業を一旦完了しテキスト原稿確定・電子媒体入手
 - 新たなテキストの拡充に関する検討・作業
 - ・平成25年度にテキスト改訂委員会設置決定、改訂委員会委員候補案の検討・依頼

(3) ねじ技能検定制度創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定（協会認定）の実施

○ ねじ製造技能検定制度創設に向けた講習会の実施

- ・ ねじ製造技能検定制度創設に向けた講習会の拡充

ねじ製造技能検定（協会認定）実技試験対策カリキュラムの新設

（講師選任、テキスト作成、講習会用サンプル作成等）

関東・中部・関西同日実施の検討実施

- ・ 関東、中部、関西で、地域毎3回の講習会を開催（地域毎に同一日に開催）

日程 第1回目 H24. 8. 22

第2回目 H24. 9. 26

第3回目 H24. 10. 24

実施場所 関東 於：東京 機械振興会館 参加者：44名

中部 於：名古屋 愛知県産業労働センター 参加者：29名

関西 於：大阪 天満研修センター 参加者：82名

カリキュラム 次頁カリキュラム1～3(計3日)が1セット（地域毎1～3を交替で実施）

（注1）カリキュラムは次頁参照

（対象：当協会会員、協会所属組合員、受講料：15,000円（3日間 教材費含む））

○ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施に向けた取組み

- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の受検資格等の基本事項の見直し
（本年度も2級のみ、受検対象者拡大（協会所属組合員企業の受検拡大））
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）実施に向けた活動計画の検討・決定
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）1級創設のための検討・準備作業
- ・ 学科試験、実技試験の試験基準・合格基準・作業試験の評価基準等の見直し
- ・ 学科試験の検討・問題内容の見直し・試験問題作成
- ・ 実技試験（要素試験）内容見直し、試験問題作成
- ・ 実技試験（作業試験）内容・試験問題見直し
- ・ 実技試験の作業試験に対するチェック項目の再検討・チェックシートの見直し
- ・ 実技試験の作業試験に対する検定委員のレベル合わせ・向上
模擬講習会の開催（H24. 7. 13 於：大阪 大阪府商工会館）
模擬実技試験の実施（H25. 1. 30 於：天満研修センター）

3 地域毎の検定委員会開催

（H25. 2. 13 於：関東・機械振興会館 中部・愛知県産業労働センター 関西・天満研修センター）

- ・ 関東・中部・関西同日（同時間）実施体制の見直し
（新規検定員及び事務局の関東、中部、関西担当分けなど）
- ・ 作業試験の試験サンプル、測定器等 試験に必要なもの（備品含む）の準備
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）当日の試験段取り（プログラム）の検討

○ ねじ製造技能検定（協会認定）の実施

- ・ 関東、中部、関西の3地域同日同時間によるねじ製造技能検定（協会認定）実施

試験日：H25. 2. 22 関東-於：東京 機械振興会館 受検者：31名

中部-於：名古屋 愛知県産業労働センター 受検者：21名

関西-於：大阪 天満研修センター 受検者：54名

（対象：当協会会員 学科試験：会員価格 5,000円、実技試験：会員価格 10,000円

協会所属組合員 学科試験：会員価格 10,000円、実技試験：会員価格 15,000円）

受検カリキュラム 9:30 受付開始

10:00 受付完了

10:15 着席完了

10:30 学科試験開始（60分）

11:30 学科試験終了

（昼食）

12:30 着席完了

12:45 実技試験 要素試験（60分）

（途中作業試験と要素試験の入換え時間あり）

14:10 実技試験 作業試験（60分）

- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の採点／可否判定
受検者106名中、合格者34名、一部合格者 学科試験40名、実技試験5名
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）の合格者受験番号を協会ホームページで公表
- ・ ねじ製造技能検定（協会認定）合格証、一部合格証送付
- ・ ニュースリリースの発表

(注1) <ねじ製造技能検定講習会カリキュラム>

	時間	テーマ	講師
カリキュラム1 8.22 関東 9.26 中部 10.24 関西	9:00～10:20	ねじの基礎について	(社)日本ねじ工業協会 専務理事 大磯義和 氏
	10:30～11:50	ねじ用材料とその熱処理	大阪精工(株) 常務取締役 森川勉 氏
	13:00～14:10	品質管理と検査	(株)フセラシ 品質保証課次長 主幹 吉岡正澄 氏
	14:20～15:10	表面処理について	日本表面化学(株) 常務取締役 山室正明 氏
	15:20～15:50	圧造油について	スギムラ化学(株) チームリーダー 山口直樹 氏
	15:50～16:20	安全衛生について	日産ネジ(株) 技術課主任 土居貴志 氏
	16:30～17:30	効果測定試験	
カリキュラム2 8.22 関西 9.26 関東 10.24 中部	9:00～11:30	ボルト製造設備、電気、圧力関係及び ボルト鍛造加工機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)エーオー 理事・技術部長 松浦富康 氏
	13:00～14:40	転造盤の設備及びボルト転造機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)三明製作所 取締役 谷口正樹 氏
	15:00～17:00	ねじの製図講習 (JISに準じたボルトの製図方法及び ボルト製品の作図実習)	関東:(株)互省製作所 技術品質保証部設計課長 情野克也 氏 中部:(株)メイドー 技術部生産準備課長 松島敏之 氏 関西:(株)丸エム製作所 執行役員 品質保証部長 出羽弘 氏
カリキュラム3 8.22 中部 9.26 関西 10.24 関東	9:00～11:30	ナット生産設備及びナット鍛造加工機の 取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	(株)阪村機械製作所 技術部課長 遠藤信幸 氏
	13:00～14:40	ナットタッピング生産設備及び ナットタッピング機の取り扱い方について (演習問題及び問題の解説を含む)	東京タッピングマシン(株) 中部:大阪営業所長 大崎慎悟 氏 関西/関東:部品設計主任 太田譲 氏
			(株)野村工具製作所 製造部次長 林達志 氏
	15:00～17:00	ボルトの測定講習 (JISに準じたボルトの測定方法及び ボルト製品の測定実習)	(株)ミツヨ 関東:営業技術部営業技術1課 渡辺昌弘 氏 中部:中部営業部流通営業課 吉田宏 氏 関西:関西営業1課 大阪オフィス 楠武史 氏 (株)メイドー 品質保証部品質保証課係長 藤本晃生 氏

(4) 職業能力評価基準の活用促進事業推進

- ねじ製造業の職業能力評価基準の活用方法・普及の検討
- ねじ製造業の職業能力評価基準活用促進事業への協力 (厚生労働省補助(委託)事業)
平成23年度に策定された「ねじ製造業職業能力評価基準」活用促進のため、人材育成制度等を整備する企業に対する支援ツールを作成すると共に、本ツールの幅広い活用目指した周知広報・活用支援の実施
 - ・ 本事業への協力に関する検討
(前年度の職業能力評価基準策定委員会開催(H24.5.11 於:機械振興会館))
 - ・ 厚生労働省より委託された
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)(以降:MURC)への協力
有識者が委員として参加するキャリア形成委員会及び業種別分科会委員推薦
キャリア形成委員会及び業種別分科会への協力
(キャリア形成委員会 H24.8.9、12.17、H25.3、12 計3回開催 椿省一郎分科会座長出席)
(業種別分科会 H24.6.26、8.30、10.31、H25.1.24、2.28 計5回開催)
本事業推進のための実態調査への協力
キャリアマップ作成における創設を目指しているねじ製造技能検定とのマッチング検討
ねじ製造業のキャリアマップ、職業能力評価シート等の導入支援ツール確定への協力
(ヒアリング、検討、修正確認等)
導入支援ツールの試行導入への協力 (導入先推薦、ヒアリング、現場への導入)
ねじ製造業「キャリアマップ・職業能力評価シート導入・活用マニュアル」策定への協力
(検討、原稿チェック、修正、)
- 職業能力評価基準活用促進事業(厚生労働省委託事業) 事業報告書作成への協力
- ・ 本事業で作成したツール類の広報準備(配布先の検討、会員への配布準備)

- 職業能力評価基準の活用促進のための協会ホームページの作成 (H25. 4. 1 公開)
 - ・ 当協会ホームページに厚生労働省の職業能力評価基準紹介ページをリンク
 - ・ 厚生労働省補助 (委託) 事業である職業能力評価基準活用促進事業で作成した OJT コミュニケーションシートの公開
- ねじ製造業の職業能力評価基準の説明会の開催
 - ・ 関東、中部、関西の 3 地域でねじ製造業の職業能力評価基準の説明会を開催

開催日程：H24. 7. 5	関東-於：東 京 機械振興会館	参加者：23 名
H24. 7. 12	中部-於：名古屋 愛知県産業労働センター	参加者：20 名
H24. 7. 13	関西-於：大 阪 大阪府商工会館	参加者：51 名

<説明会次第> (3 地域共通)

時 間	内 容
13:00～13:10	[開会挨拶] 社団法人日本ねじ工業協会 副会長・資格委員長 椿 省一郎
13:10～13:50	[講 演] ねじ製造業における職業能力評価基準の概要について 中央職業能力開発協会 キャリア形成促進室 評価制度開発課 開発係長 高久 訓一 氏
14:00～14:40	[講 演] 人事制度における職業能力評価基準の具体的な活用方法について 株式会社日本総合研究所 総合研究部門 主任研究員 林 浩二 氏
14:40～14:50	質疑応答
14:50～15:00	資格委員会事業について(事業報告)

- (5) 平成 25 年度 本委員会の事業計画案の策定
 - ・ ねじ製造技能検定創設に向けた講習会の拡充検討
 - ・ ねじ製造技能検定 (協会認定) の充実
(検定当日の試験段取り(プログラム)見直し、検定委員及び受検者レベルの向上、普及活動)
 - ・ ねじ製造技能検定 (協会認定) 1 級創設のための検討・準備計画案の策定
 - ・ ねじ製造業の職業能力評価基準の普及推進 (活用事例説明会開催、新たな活用促進方法検討)
 - ・ 平成 25 年度にテキスト改訂委員会を設置し本委員会でテキスト改訂作業を推進
- (6) その他、資格制度に関する事業
 - ねじ製造技能検定創設に向けた講習会及びねじ製造技能検定 (協会認定) の事務処理
(日程調整、広報、案内、会場確保、会場準備、データ処理、受検 (講) 票送付等)
 - 技能検定創設に向けた諸作業
(厚生労働省とのヒアリング等の対応、手続き・取組等検討、諸規定の整備(見直し) 他)
 - 検定委員の増員等の体制拡充及び事務処理体制整備

4. 技術委員会事業 (相澤正己委員長)

- (1) タイ国における研修会及び工場視察 (H25. 2. 6～2. 9 (早朝)) (注 2) 概要は次頁参照
(技術委員会、ボルト部会及びナット部会 合同事業)
- (2) その他技術講習会及び需要業界視察の開催
 - 技術講習会
 - ・ 技術講習会「ねじ製造技能検定創設に向けた講習会」開催 (資格委員会事業)
 - 需要業界視察 (関東支部事業) (航空機メーカー整備工場等見学)
- (3) ねじに関する安全啓発事業
 - 「ねじの常識・非常識」に関する検討
(会員事業 WG 開催 (2 回) :H24. 6. 1、H24. 12. 1 於:機械振興会館)
 - 広く一般向けのねじの安全啓発記事「ねじの常識・非常識」の執筆、HP 掲載

テーマ
Qー石膏ボードに直接、タオル掛けをタッピンねじで留めたがすぐに取りれてしまう。ねじの選び方または、石膏ボードの問題でしょうか？ステンレス鋼製ねじは鋼製ねじより強いのですか？

(注2) <研修会概要>

- 日時：2013年2月7日(木) 17:00～
場所：ROYAL CLIFF BEACH GRAND HOTEL (タイ国 パタヤ)
次第：
・挨拶 技術委員長 相澤 正己 副会長
・挨拶及び施策説明
「平成25年度の税制改正の主なポイント」
経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信 氏
・講演 テーマ「タイにおける製造業その今」
J-TEX ASIA CO., LTD. 代表取締役社長 一迫 守 氏
・JETRO 紹介及びタイの経済概況
JETRO バンコク事務所 林 崇郎 氏
・情報交換
当協会会員の現地法人駐在員の方々の自己紹介及び現地法人の
現況等に関する情報交換
・懇親会
参加者数：38名 (日本から参加者25名、現地会員駐在員参加者数13名)

(注2) <工場視察概要>

タイ国(日系)ねじ製造企業(3社)及び(日系)線材製造企業の工場見学(タイ国 パタヤ)

日時：2013年2月7日(木)及び2月8日(金)

参加者数：25名

視察先：(タイ国 パタヤ (工場団地))

7日 午前

- ・THAIOKAWA Co., Ltd.
所在地 Hemaraj Eastern Seaboard Industrial Estate
- ・FUSERASHI (THAILAND) CO., LTD.
所在地 Hemaraj Eastern Seaboard Industrial Estate

午後

- ・NIPPON STEEL & SUMIKIN Steel Processing (Thailand) Company Limited
所在地 Eastern Seaboard Industrial Estate

8日 午前

- ・THAI MEIRA CO., LTD.
所在地 Siam Eastern Industrial Park

(4) 圧造技術スクールの開催 (株旭サナックと共催)

平成24年度は、下記のとおり工程設計コース4回、金型設計コース2回の計6回開催し、計119名が参加した。

開催日	内容	開催場所 参加者数
第121回 24.6.13～15	工程設計コース	旭サナック(株)圧造技術センター 参加者 24名
第122回 24.9.19～21	金型設計コース	〃 参加者 21名
第123回 24.10.17～19	工程設計コース	〃 参加者 24名
第124回 24.12.12～14	工程設計コース	〃 参加者 18名
第125回 25.2.15～17	工程設計コース	〃 参加者 21名
第120回 25.3.13～15	金型設計コース	〃 参加者 11名

- (5) JIS/ISOに関する事業（ねじ研究協会との連携）
- ・ JIS 原案作成委員会（主催 日本ねじ研究協会）への協力
 - 昨年度の当協会 JIS 規格検討員会での検討による六角ボルト（JIS B 1180）、六角ナット（JIS B 1181）の附属書廃止に伴う日本ねじ研究協会に対する要望事項について、本年度の日本ねじ研究協会主催の JIS 原案作成委員会における審議に対して委員推薦・委員会における要望事項説明等の協力を行った
 - ・ 昨年度 当協会が取り纏めた要望内容の業界内への説明を実施
 - 総会（H24. 5. 24 開催 於：東京會館）、関西支部懇談会（H24. 6. 14 開催 於：日航大阪）、ねじ商工連盟総会（H24. 8. 1 開催 於：東京會館）、日本ねじ商業協同組合連合会常任理事会（H24. 6. 19 開催 於：東京會館）等において、平戸眞澄 JIS 検討委員会委員長及び大磯義和専務理事が要望内容について説明を実施（ニュースリリースも発表）
- (6) サポートインダストリー振興事業
- 会員啓発のための作業
 - ・ 委員会・部会等の諸会合における啓発作業
 - ・ 企業訪問等による会員への啓発作業
 - ・ 会員への公募案内通知及び案件ニーズ等の情報収集
 - ・ メルマガ等その他の広報活動による会員への啓発作業
 - 公募関係事前案内等の会員への活用促進対応
 - 申請作業に関する会員サポート対応
- (7) 有害物質規制及び地球環境温暖化対策に関する事業
海外の化学物質管理規制、省エネ・温暖化対策等に関する情報の収集
- (8) ねじ入門書の頒布、JIS ハンドブックの斡旋
- (9) 平成 25 年度 本委員会の事業計画案の策定
- (10) その他、技術振興事業

5. 国際委員会事業（大川克良委員長）

- (1) 2012 年五地域ねじ協会交流大会（於 東京）の企画検討
- 実行委員会で委員の分担を決定
(代表者会議担当、展示会担当、セミナー担当、パーティー担当)
 - 実行委員会による代表者会議、講演会内容(講師)、懇親会等の具体化について検討を
すると共に、展示会主催者、開催ホテル担当者、船上懇親会担当者等との打合せ、
渉外(対応)を実施
- (2) 2012 年五地域ねじ協会交流大会の開催
以下のとおり、実行委員会による五地域ねじ協会交流大会を開催（主催）

<大会概要>

日 程	6月20日(水)～21日(木)	
場 所	東京 有明・台場他	
参加者	韓国ファスナー工業協同組合（魚鎮善理事長）	30名
	中国機械通用零部件工業協会緊固件專業分会（馮金堯会長）	53名
	台湾区螺絲工業同業公会（陳明昭理事長）	32名
	香港螺絲業協會（陳兆威主席）	25名
	社団法人日本ねじ工業協会（竹中弘忠会長）	53名
	合計	193名

<大会構成>

6月20日 17:00～20:00

「代表者会議」（各地域代表者のみ参加）（於 ホテル日航東京）

各地域のねじ業界の現況報告他

（竹中弘忠会長、大川克良国際委員長、大磯義和専務理事が出席）

6月21日 10:00～

「機械要素技術展見学」(於 東京ビッグサイト)

「五地域交流会議」

・記念品交換(於 ホテル日航東京)

(14:00～14:30)

・講演会(於 ホテル日航東京)

<第1部>(14:30～16:00)

テーマ「太陽光発電と電気自動車で推進する21世紀の産業革命」
～ねじ産業へのインパクト～

講師:東京大学 総長室アドバイザー 村沢 義久 氏

<第2部>(16:30～18:00)

テーマ「一流の習慣塾」

～イチローから学んだ事、一流選手、指導者から学んだ事～

講師:NPO法人ベースボールスピリッツ 理事長 奥村 幸治 氏

「船上懇親パーティー」(19:10～21:40)(於 東京湾クルーズ)

※来年の開催地は中国に決定した

(3) 原産地規則、自由貿易協定に関する情報収集

日本及び諸外国間のEPA協定締結状況、運用状況、TPP情報、原産地規則等
の情報収集提供

(4) 海外ねじ関連企業工場見学

タイ国ねじ製造企業(3社)及び線材製造企業の工場見学(於:タイ国 パタヤ)

(技術委員会、ボルト部会、ナット部会合同事業)

(5) 韓国材料メーカー(ポスコ特殊鋼株)による材料動向講演会(ステンレスねじ部会)

(6) 国際関連情報の情報収集提供

(7) その他、国際協調・競争力強化関係事業

<参考> 日本におけるEPA/FTAの状況について

シンガポール	2007年9月	発効(改正議定書)
メキシコ	2012年4月	発効(改正議定書)
マレーシア	2006年7月	発効
チリ	2007年9月	発効
タイ	2007年11月	発効
フィリピン	2008年12月	発効
ブルネイ	2008年7月	発効
インドネシア	2008年7月	発効
アセアン全体	2008年12月以降	順次発効
‘08.12(日本、シンガポール、ラオス、ベトナム、ミャンマー)		
‘09.1(ブルネイ)、同2(マレーシア)、同6(タイ)、同12(カンボジア)		
‘10.7(フィリピン) 発効		
ベトナム	2009年10月	発効
スイス	2009年9月	発効
インド	2011年8月	発効
ペルー	2012年3月	発効
GCC(湾岸協力理事会)加盟諸国	(サウジアラビア、クウェート、UAE、バーレーン、カタール、オマーン)	
	2006年9月	交渉開始(これまで2回交渉)
オーストラリア	2007年4月	交渉開始(これまで16回交渉)
韓国	交渉再開に向けて努力中	
モンゴル	2012年6月	交渉開始(これまで3回交渉)
コロンビア	2012年12月	交渉開始(これまで1回交渉)
カナダ	2012年11月	交渉開始(これまで1回交渉)
日中韓	2012年11月	交渉開始を宣言
EU	2013年3月	交渉開始決定
アセアン+6・アセアン+3		
	2012年11月	交渉立ち上げを宣言

その他

TPP-シンガポール、ニュージーランド、チリ、ブルネイ、アメリカ、オーストラリア、ペルー、マレーシア、メキシコ、カナダ計11カ国交渉参加

日本-交渉参加に向けた関係国との協議中

6. 労務委員会事業（大磯義和委員長）

(1) 会員企業の労務に関する調査

会員企業の従業員賃金・賃上げ、賞与に関する調査

労務委員会では、労務調査対象企業 35 社に対して以下の調査を行い、回答企業には集計結果を報告。

調査名	調査内容・回答社数
①平成 24 年度従業員賃金調査	調査内容 ・従業員数、労働時間、休日、週休 2 日制、定年制 ・平均賃金(全従業員数、組合員) ・年齢別平均賃金(男子従業員) ・新規卒卒者初任給、採用者数 ・賃金上昇額、賞与、期末手当 ・賃金体系 他 回答 13 社 (集計結果は製本して頒布)
②平成 23 年年末手当要求、妥結状況	回答 14 社
②平成 24 年春期賃上げ要求、妥結状況	回答 14 社
③平成 24 年夏期手当要求、妥結状況	回答 18 社

(2) 雇用関係情報等の労務関係情報の収集・提供

(3) 団体グループ保険制度、国内・輸出向け団体 P L 保険制度加入拡充の促進のため 会員宛に団体保険制度の案内パンフレット送付等の情報提供及び事務処理作業

7. 財務委員会事業（嶋田亘委員長）

予算作成、決算報告、事業支出時等に予算に見合った適正な財務状況となるよう諮問を行った

II 部会事業

○ 部会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ステンレスねじ部会 (西川倫史部会長)	(第一回) 24. 6. 27 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 8名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会 テーマ「アジアのステンレスワイヤーロードの事情について」 講師 榊信光ステンレス 代表取締役社長 西居 慎一郎 氏 ・ステンレスねじの輸出入動向について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第二回) 24. 9. 12 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 8名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入動向について ・ステンレスねじ市況状況等について
	(第三回) 24. 12. 13 17:00～18:00 大阪:北むら(心斎橋) 参加者 7名	<ul style="list-style-type: none"> ・ステンレスねじの輸出入状況等について ・来年度の部会事業計画の検討 ・ステンレスねじ市況状況等について ・懇親会
	(第四回) 25. 3. 14 14:00～16:00 大阪:関西支部会議室 参加者 10名	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会 テーマ「日本を取り巻くステンレス鋼の状況について」 講師 ポスコ特殊鋼(株) 日本事務所代表 金 永蕓 氏 ・平成 25 年度事業計画(案)について ・ステンレスねじ市況状況等について

○ 懇親会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ソケットスクリュー部会 (椿省一郎部会長)	25. 1. 24 17:00～19:00 東京:東京會館 参加者 37名	・賀詞交歓会

○ 研修会及び工場視察

	日程・場所	内容・その他
ボルト部会 (相澤正己部会長) ナット部会 (佐藤義則部会長)	25. 2. 6～2. 9(早朝) タイ国:パタヤ	<p>(ボルト部会、ナット部会及び技術委員会 共同開催)</p> <p>○研修会 日時: 2. 7(木) 17:00～ 場所: ROYAL CLIFF BEACH GRAND HOTEL 参加者数: 38名 (日本からの参加者 25名、会員現地駐在員 13名) 内容: 施策説明 「平成 25 年度の税制改正の主なポイント」 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演 テーマ「タイにおける製造業その今」 J-TEX ASIA CO., LTD. 代表取締役社長 一迫 守 氏 ・JETRO 紹介及びタイの経済概況 JETRO バンコク事務所 林 崇郎 氏 ・情報交換 ・懇親会 <p>○視察 (タイ国 パタヤ(工業団地)) タイ国(日系)ねじ製造企業(3社)及び(日系)線材製造企業の工場見学 参加者数: 25名 視察先: 2. 7(木) 午前 ・THAIOKAWA Co., Ltd. ・FUSERASHI (THAILAND) CO., LTD. 午後 ・NIPPON STEEL & SUMIKIN Steel Processing (Thailand) Company Limited 2. 8(金) 午前 ・THAI MEIRA CO., LTD.</p>

○ その他事業

建築用ねじ部会 (平田彰三郎部会長)	<ul style="list-style-type: none"> ○部会メンバーに対する公共住宅建築工事共通仕様書(H25年版)策定に係わる要望調査を実施し、公共住宅事業者等連絡協議会事務局へ1件の要望を行った ○(建築)基礎ボルト関係向けねじ製造企業の入会促進活動推進
-----------------------	---

Ⅲ 組織強化事業

(1) 魅力ある協会運営のための事業推進

- 協会の財政の健全化、魅力ある事業推進及び会員の増強等協会の基盤強化の推進のために、7委員会・7部会（上記参照）活動の活性化推進
- 会員増強の推進
- 関東・中部・関西の各支部懇談会開催及び懇親会の開催等による会員の相互連携強化事業

(2) 会員の経営基盤強化のための講演会開催

開催日	時間・場所 参加者数	テーマ・講師・その他
24.6.14	16:20～17:30 大阪・ホテル日航大阪 参加者 37名	・テーマ:「最近の経済情勢と今後の見通しについて」 ・講師: (株)日本総合研究所 関西経済研究センター 所長 廣瀬 茂夫 氏
24.12.6	15:30～16:30 大阪・ホテル日航大阪 参加者 66名	・テーマ:「2013年の経済見通しと企業の成長戦略について」 ・講師: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) コンサルティング事業部 経営戦略部 チーフコンサルタント 浦田 善行 氏

(3) 公益法人関連法及び制度改正への対応

- 説明会出席等の情報収集
- 一般社団法人への移行に向けた作業
 - ・ 公益目的支出計画の策定及び公益目的財産額の算出
 - ・ 新法人に必要な新定款案等規程類の整備
 - ・ 公益目的支出計画に沿った事業計画案・予算案の策定
 - ・ 一般社団法人への移行に向けた上記作業の総会・理事会上程、承認
 - ・ その他認可申請に向けた準備作業（所管官庁及び内閣府公益認定等委員会との対応）
- 認可申請手続き（3/21 認可日）
- 一般社団法人への移行作業（役員変更手続、移行登記、対外的周知、HP等の表記変更 他）
（4/1 一般社団法人への移行登記日）

(4) 諸規程整備作業（一般社団移行に伴うもの以外）

(5) 政府経済対策等への対応

- 政府・官公庁からの情報提供等政府施策活用促進
- 政府経済対策情報提供
 - ・ 中小企業信用保険法（セーフティネット保証）の業種指定申請への対応
 - ・ 政府補助金事業及び補正予算関係の情報提供
- 電力需給対策・原子力発電対策への対応（政府支援策等の情報提供）

(6) 取引の適正化に係わる事業

- 政府の下請取引適正化対策の周知・対応
（下請適正取引ガイドラインの周知、下請取引関係講習会広報、
その他取引の適正化に係わる情報の情報収集・提供）
- 下請関係委員会（全国中小企業団体中央会 委員会）への協力
- ねじ商工連盟総会等の諸会合における原材料関係等取引関係に関する情報交換

(7) 日本ねじ研究協会等関連団体との連携強化

（日本ねじ研究協会 主催 講演会の案内を HP 掲載 他）

(8) その他

- 経済産業省等の行政省庁との情報交換（会員企業への企業訪問への対応、情報交換）
- (一社)日本機械工業連合会、全国中小企業団体中央会、鉄鋼製品団体協議会等団体との対応
- 栄典申請対応・作業

第3章 総会、理事会、懇談会・懇親会等

1. 総会、理事会

(1) 総会

第52回通常総会は、5月23日に東京で開催。(議事録は「参考1」に記載)

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
第52回 通常総会	24.5.23 15:00～16:30 東京・浜松町 東京會館 出席 152名 (内委任状 86名)	第1号議案 平成23年度事業報告書(案)並びに平成23年度 決算報告書(案)承認に関する件 第2号議案 平成24年度事業計画書(案)並びに平成24年度 収支予算書(案)承認に関する件 第3号議案 平成24年度会費規程(案)承認に関する件 第4号議案 理事の補欠選任(案)承認に関する件 第5号議案 新定款(案)承認に関する件 第6号議案 公益目的支出計画(案)承認に関する件 ○総会終了後懇親会 来賓挨拶 経済産業省製造産業局産業機械課長 藤木 俊光 様

(2) 理事会

平成24年度は5回開催、概要は以下のとおり。

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
4月理事会	24.4.19 14:00～15:30 大阪・ ホテル日航大阪 出席 56名 (内委任状 27名)	第1号議案 総会付議案件について ①平成23年度事業報告書(案)並びに決算報告見込み案について ②平成24年度事業計画案並びに収支予算案について ③平成23年度会費規程案について ④新定款案について ⑤公益目的支出計画案について ○理事会終了後 経産省の推進している政策等の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 氏
7月理事会	24.7.13 15:00～16:30 名古屋・ キャッスルプラザ 出席 54名 (内委任状 32名)	第1号議案 新規入会申請について 第2号議案 評議委員選任方法(案)について 第3号議案 役員給与規程(案)について 第4号議案 役員退職金規程(案)について ○理事会開催に先立ち 節電目標、エネルギー・環境に関する選択肢、補助金採択結果の紹介及び説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 氏
9月理事会	24.9.13 14:00～15:40 東京・ 機械振興会館 出席 56名 (内委任状 20名)	第1号議案 新規入会申請について 第2号議案 新法人の役員選任について 第3号議案 規程類の整備について ・職員給与規程(案)、・職員退職金支給規程(案)、 ・文書規程(案)、・事務処理規程(案) ○理事会開催に先立ち 平成25年度経済産業政策及び関係予算等の説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課課長補佐 金澤 信 氏
12月理事会	24.12.6 14:00～15:00 大阪・ ホテル日航大阪 出席 55名 (内委任状 26名)	第1号議案 新法人における執行役員候補(案)について 第2号議案 各種規程の整備について ・協会規約、・会員慶弔見舞金規程 ・専従役員慶弔見舞金規程、・監事監査規程 第3号議案 平成25年度行事予定(案)について ○報告事項の中で以下について報告 ・会員企業の褒章受章報告 ・一般社団法人への移行認可申請について、11.6日付で、 内閣府公益認定等委員会から総理大臣宛てに、認可の基準に 適合するとの答申を行った旨報告

	日時・場所 出席者数	議 題・その他
3月理事会	25.3.21 14:00~15:40 東京・ 機械振興会館 出席 56名 (内委任状 22名)	第1号議案 入会申請について 第2号議案 執行役員の追加及び変更選任案について 第3号議案 常勤役員の報酬案について 第4号議案 経理規程改正案について 第5号議案 総会付議案件について ①平成25年度事業計画案について ②平成25年度収支予算案について ③会費規程改正案について ○理事会開催に先立ち 補正予算/平成25年度税制改正の概要及び経産省関係補助金の紹介・説明 経済産業省 製造産業局 産業機械課係長 國峯 彰太 氏 ○報告事項の中で以下について報告 ・4.1日付で一般社団法人へ移行する旨報告 ・新定款の適用に伴い執行役員会発足(原則:理事会開催日開催)を報告 ・ねじ製造技能検定(協会認定)(2級)結果概要報告

2. 懇談会・懇親会等

懇談会・懇親会等の開催

	日時・場所等	時間・参加者数
総会懇親会	24.5.23 東京・浜松町 WTC コンファレンスセンター	16:30~18:30 参加者 89名
関西支部懇談会・懇親会 (後藤晴雄支部長)	24.6.14 大阪・ホテル日航大阪	懇談会 15:00~15:50 参加者 33名 JIS改正提案内容説明会 15:50~16:20 参加者 35名 講演会 16:20~17:30 参加者 37名 懇親会 17:30~19:00 参加者 33名
中部支部懇談会・懇親会 (相澤正己支部長)	24.7.12 名古屋・キャッスルプラザ	懇談会 16:00~16:30 参加者 30名 懇親会 16:30~18:30 参加者 34名
忘年会 (12月理事会)	24.12.6 大阪・ホテル日航大阪	講演会 15:30~16:30 参加者 66名 忘年会 16:30~18:30 参加者 57名
関東支部懇談会 <工場見学・忘年会> (椿省一郎支部長)	24.12.14 見学先:日本航空整備工場(成田)	懇談会(工場見学) 14:00~16:30 忘年会 17:00~19:00 参加者 懇談会 27名、懇親会 23名
賀詞交歓会 (日本ねじ研究協会と共催)	25.1.18 東京・品川プリンスホテル	15:00~16:30 参加者 162名
中部支部懇親会 (相澤正己支部長)	25.2.26 名古屋・キャッスルプラザ	17:00~18:30 参加者 38名

3. ねじ商工連盟総会

	日時・場所 参加者数	議題・その他
ねじ商工連盟総会	24.8.1 12:00~14:00 東京・ 浜松町 東京會館 参加者数 ねじ協会側 20名 ねじ商連側 20名 報道 5名	第1号議案 平成23年度収支決算報告並びに 剰余金処分案承認に関する件 第2号議案 平成24年度収支予算案承認に関する件 (総会終了後) ・JIS改正説明会 ねじ協会より、六角ボルト・六角ナットのJIS附属書廃止に伴うJIS改正について、当協会JIS検討委員会において取り纏めた日本ねじ研究協会への改正提案の内容を説明

【平成24年度会員数推移】

	期首	入会	退会	期末
正会員 (内団体)	152 (5)	3 (0)	0 (0)	155 (5)
賛助会員	40	2	1	41
合計	192	5	1	196(5)

平成24年度入会社数

正会員3社 賛助会員2社

正会員 松栄製鋸株式会社 (中部支部)
丸一螺子工業株式会社 (中部支部)
大矢螺子工業株式会社 (中部支部)

賛助会員 松菱金属工業株式会社
サンコー株式会社

平成24年度退会社数

賛助会員1社

賛助会員 株式会社東洋金属熱錬工業所

・会員数推移

	入会	退会	年度末	全会員
平成17年度(05)	3(0)	7(0)	173(7)	205(7)
	0	0	32	
平成18年度(06)	1(0)	6(1)	168(6)	200(6)
	0	0	32	
平成19年度(07)	2(0)	8(0)	162(6)	195(6)
	2	1	33	
平成20年度(08)	1(0)	10(0)	153(6)	184(6)
	0	2	31	
平成21年度(09)	9(0)	7(1)	155(5)	190(5)
	4	0	35	
平成22年度(10)	2(0)	4(0)	153(5)	192(5)
	5	1	39	
平成23年度(11)	1(0)	2(0)	152(5)	192(5)
	1	0	40	

上段：正会員（内団体数）

下段：賛助会員

【参考1】第52回通常総会議事録

1. 日 時
平成24年5月24日（木曜日） 15:00 ～ 16:30
2. 場 所
東京都港区浜松町2-4-1
浜松町世界貿易センタービル39階 東京會館「チェリールーム」
3. 出席者
正会員総数 153名
出席正会員数 152名（うち委任状による出席者 86名）
4. 議 題
第1号議案 平成23年度事業報告書(案)並びに決算報告書(案)承認に関する件
第2号議案 平成24年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)承認に関する件
第3号議案 平成24年度会費規程(案)承認に関する件
第4号議案 理事の補欠選任(案)承認に関する件
第5号議案 新定款(案)承認に関する件
第6号議案 公益目的支出計画(案)承認に関する件
報告事項 副会長・支部長交代について、勇退役員について、JIS改正提案内容説明について

開会に先立ち、平成23年度にご逝去された佐藤元会長、望月前会長、
会員企業代表者等物故者のご冥福を祈り1分間の黙祷を捧げた。

5. 議 事
大磯専務理事から、出席正会員数につき、定款第24条（正会員の過半数の出席により成立）の要件を満たし定足数に達している旨報告。
定款第23条（総会の議長は、会長があたる）の規定により、竹中弘忠会長が議長となった。議事に入る前に、経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 金澤 信氏より、今夏の電力供給状況の説明及び節電対策・節電要請等を兼ねご挨拶があった。
続いて議長が本日の議事録署名人に椿省一郎副会長、相澤正己副会長及び嶋田亘副会長の3名を指名して議事に入った。

第1号議案 平成23年度事業報告書(案)並びに決算報告書(案)承認に関する件

専務理事より、資料1-1「平成23年度事業報告書(案)」及び資料1-2「平成23年度決算報告書(案)」に基づき説明があった。

続いて監事を代表して田中良典監事が、「去る4月16日に、監事2名が社団法人日本ねじ工業協会本部において、平成23年4月1日から平成24年3月31日までの事業年度における事業内容、財産の状況並びに理事の業務執行状況の監査を行った結果、貸借対照表、財産目録及び収支計算書は正しく示しており、また理事の職務執行についても法令また定款に違反していないと認める」旨の報告があった。

議長より第1号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第2号議案 平成24年度事業計画書(案)並びに収支予算書(案)承認に関する件

資料2-1「平成24年度事業計画書(案)」に基づき、当協会の重点事業である①「未来開発・パブリシティ委員会事業について」藤田理事兼委員長より、②「資格委員会事業について」椿副会長兼委員長より、③「技術委員会事業について」相澤副会長兼委員長より、④「国際委員会事業について」大川副会長兼委員長よりそれぞれ説明があった。続いて、政策委員会事業について竹中会長兼委員長より説明があり、専務理事より各部会事業などその他の事業について説明があった。

事業実施に伴う収支予算(案)について、専務理事より資料2-2「平成24年度収支予算書(案)」に基づき説明があった。

議長より第2号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第3号議案 平成24年度会費規程(案)承認に関する件

議長より資料3「平成24年度会費規程(案)」に基づき、今年度の会費規程は昨年同様変更を行わない旨の説明があった。

しかしながら、現在の「会費規程」は会員企業の現状に即していない。3年前に「会費規程改正検討委員会」を設け会費の見直しを行い、新会費規程の成案をみたが、急激な景気の悪化により実施を見送った経緯がある。何時までも歪な状態を続けるわけには行かないので、会費規程の見直しを早急に行い、会費規程改正案を会員各位に提案してご理解、ご協力をお願いしたいと思っている旨の補足説明があった。

議長より第3号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

第4号議案 理事の補欠選任(案)の承認に関する件

専務理事より、資料4「理事の補欠選任について」に基づき、関東支部選出理事1名の逝去に伴う欠員、関西支部選出理事2名の辞任申し出があり、平成23年度3月理事会にて関東支部、関西支部の役員選考委員会(書面議決による)から推薦の下記理事候補者(3名)につき審議し、候補者全員が選任された旨の説明があった。

議長が議場に第4号議案を諮った結果、異議なく承認された。

- | | |
|------------------------------|--|
| ○ ご逝去された理事(敬称略) | ○ 新任理事(敬称略) |
| 石井昌幸
(株)桂川精螺製作所 前代表取締役社長) | 長谷川敬芳
(株)ハマノ 代表取締役社長) |
| ○ 退任理事(順不同、敬称略) | ○ 新任理事(順不同、敬称略) |
| 松宮栄治
(株)朝日螺子製作所 前代表取締役社長) | 松宮成行
(株)朝日螺子製作所
代表取締役会長兼社長) |
| 北井正次
(ケーエム精工(株) 取締役会長) | 北井敬人
(ケーエム精工(株) 代表取締役社長)
(新理事の任期は平成25年5月末日迄) |

第5号議案 新定款（案）について

専務理事より、資料5「新定款(案)について」、資料・別添1「新定款(案)」資料別添2「定款新旧比較表」に基づき次のような説明があった。

- ① 公益法人制度改革関連3法の成立により、新公益法人制度(一般社団法人又は公益社団法人)に則した法人への移行する必要がある。
当協会は51回通常総会において、一般社団法人への移行申請につき承認されている。
- ② 移行申請するに当たり、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に則り、定款を変更する必要がある、「新定款案」は、変更せざるを得ない点について変更し作成した旨の説明があった。
- ③ 従来の定款との主要な変更点(名称、理事数、評議委員会等)につき資料5「新定款(案)について」に基づき説明があった。
- ④ 資料 別添2「定款新旧比較表」に基づき変更点の詳細について説明があった。
- ⑤ 新定款(案)の内容につき内閣府等より文言の一部追加・修正要請があった場合の対応を会長に一任させていただきたい。

議長より第5号議案を議場に諮った結果、原案どおり異議なく承認された。

第6号議案 公益目的支出計画（案）承認に関する件

専務理事より、資料6「公益目的支出計画の概要について」、資料 別添3「公益目的支出計画の継続事業の内容について」及び資料 別添4「公益目的支出計画に基づく継続事業項目とその他事業項目」に基づき次のような説明があった。

- ① 公益目的支出計画制度とは、従来の公益法人が税制上の優遇などにより法人内部に留保した財産(公益目的財産額)を公益目的のために支出・費消していく支出計画制度である。
一般社団法人への移行申請には、この公益目的支出計画の作成・行政庁の認可が必要で、この支出計画が適正かつ確実に実行されることが要件の一つとなっている。
- ② 実施対象事業として、イ. 公益目的事業 ロ. 継続事業 ハ. 公益的団体への寄付がある。
- ③ 当協会は、公益目的支出計画の対象事業を「ロの継続事業」として、
次の2事業を選定した。
 - (1) ねじ製造技術振興事業
(ねじ製造技能資格認定制度の創設と認定試験の実施事業等)
 - (2) ねじ製造業の調査・広報事業
(ねじの生産統計、輸出入統計の作成・公表、
HPによるねじ業界の各種情報発信等)
- ④ 公益目的支出計画事業以外の事業として、国際協調・競争力強化事業、ねじ産業活性化事業等 平成24年度事業計画書記載の事業を併せて実施するとの説明があった。
- ⑤ 内閣府より公的支出計画(案)内容に関し、一部文言等の修正要請があった場合は、その対応を会長に一任させていただきたい。

議長より第6号議案を議場に諮った結果、異議なく承認された。

○報告事項

① 関西支部選出副会長・関西支部長の交替について

専務理事より、別紙1「副会長の交替について」に基づき、田島祥一副会長・関西支部長の辞任に伴う後任副会長兼関西支部長に「関西支部役員選考委員会」から推薦があった後藤 晴雄 氏（株式会社 朝日押捻子製作所 代表取締役社長）について先の3月理事会において審議、承認された旨説明・報告があった。

② 勇退理事について

会長より、勇退理事2名に感謝状並びに記念品が贈呈された。

③ JIS 改正提案内容説明について

六角ボルト・六角ナットの JIS 附属書廃止に伴う JIS 改正について、当協会 JIS 検討委員会において取り纏めた日本ねじ研究協会への改正提案内容の説明があった。

議長は、以上をもって第52回通常総会の議事が全て終了した旨を述べ16時30分終了した。

上記の議決を明確にするために本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに署名捺印する。

平成24年5月24日

社団法人 日本ねじ工業協会

議長	会長	竹中 弘忠
署名者	副会長	椿 省一郎
署名者	副会長	相澤 正己
署名者	副会長	嶋田 亘